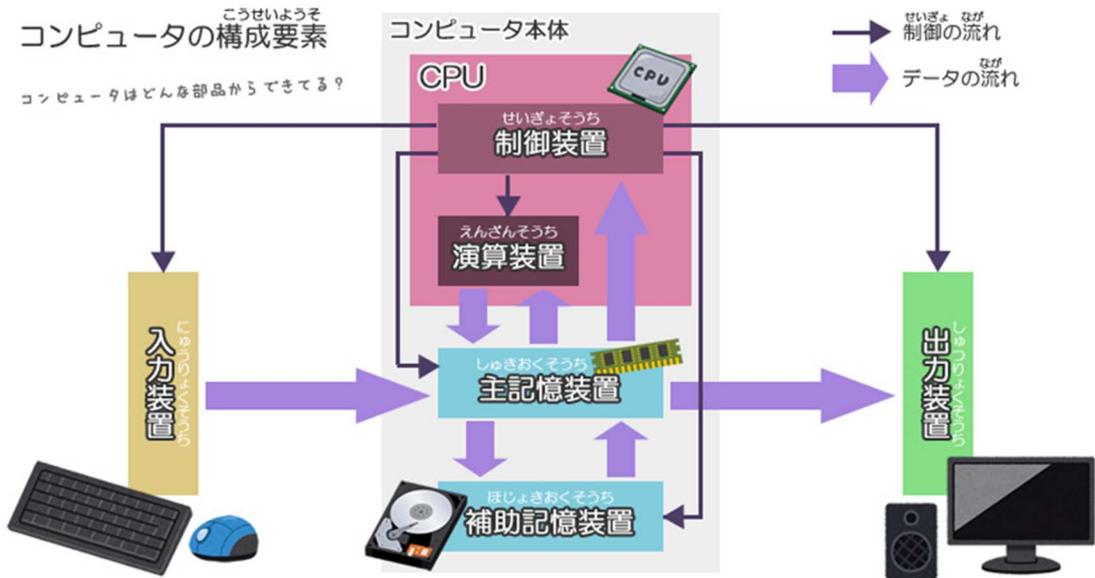


●コンピュータの構成要素



制御装置	プログラムの命令を実行したり、他の装置を制御したりする	CPU
演算装置	算術演算や論述演算を行う	CPU
入力装置	データを外部から取り込む	マウス、キーボード など
出力装置	データを外部に取り出す	ディスプレイ、プリンタ など
主記憶装置	CPU が直接高速で読み書きができる記憶装置 [小容量 高速 揮発性]	メモリ ※机の広さに例えられる
補助記憶装置	データやプログラムを記憶する主記憶装置を補助 [大容量 低速 不揮発性]	HDD,SSD など ※引き出しの多さに例えられる

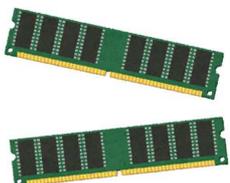
●CPU (Central Processing Unit)

周辺機器からデータを受け取り、制御・演算を担っており、中央処理装置とも呼ばれます。コンピュータの頭脳となるもので、CPU の性能がコンピュータ全体の性能に大きく関わってきます。



●メモリ

データやプログラムを一時的に記憶しておく装置。揮発性であり、コンピュータの電源を切ると記憶していたデータは残りません。メモリには読み書きが可能な RAM と読み取り専用の ROM があります。メモリは作業台のような働きをしており、容量が大きいほど処理のスピードが速くなります。



● HDD

写真や動画などのデータを保存することのできる大容量の記憶装置。不揮発性メモリなのでコンピュータの電源を切っても保存されたデータは削除されることはありません。

外部 HDD（USB メモリや CD,DVD など）を使用するとデータの共有や持ち運びが可能になります。

HDD のほかに HDD より容量が小さいが処理速度の速い SSD と呼ばれる記憶装置もあります。



● 入力装置・出力装置



入力装置・・・コンピュータにデータや情報を与えるための装置

人間が操作して信号を送る装置。

キーボードやマウス、タッチパネル、スキャナなど

出力装置・・・コンピュータが処理した内容を人間が分かる形で出力する装置

モニタ、プリンタなど